

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信 特化型	
信託期間	2025年7月14日まで（2015年8月21日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型	アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）	シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	- 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と値上がり益の獲得を目指します。 - シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行い（以下、不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」といことがあります。）、保有する原資産通貨について、原則として為替取引を行いません。	
主な組入制限	- 投資信託証券（上記の受益証券をいいます。）への投資割合には制限を設けません。 1発行体等あたりの当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。	
分配方針	毎年1月13日および7月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）分配対象額の範囲は、経費扣除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ◆当ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
 *寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。
- ◆当ファンドは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に実質的に投資します。当ファンドの投資対象には支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

運用報告書（全体版）

アジアリート戦略オープン （為替ヘッジなし）年2回決算型

愛称：アジアストリート

第13期（決算日：2022年1月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型」は、去る1月13日に第13期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期（過去6ヵ月間）の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。

配当利回りなどの面で相対的に投資妙味が高いと思われる銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

【第13期末における主なリート市場への投資比率と投資のポイント】

◎シンガポール 72.7%

シンガポール市場は、中国不動産大手の債務問題などの影響があったものの、世界的に見て新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいることや、欧米諸国と比較して新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いていることなどからリート価格も底堅く推移しております。不動産の用途別では、空室率や賃料との相関が相対的に高い国内総生産（GDP）の回復やテレワークの浸透に引き続き左右されるとみています。短期的には新型コロナウイルス感染再拡大などによるテレワークの浸透の加速などの懸念はあるものの、賃料水準は安定しており、長期的にはオフィス中心地にある立地の良いオフィスや広い面積を有するオフィスへの需要は底堅く、オフィスの勤務への回帰が高まる可能性があるかとみています。小売りについては、いまだに観光客が戻ってきていないにも関わらず、ショッピングモールの来場者数はコロナ禍以前の90%程度の水準まで回復してきています。中央商業地区のモールの売上は約3割を観光客に依存する一方、郊外のモールはその比率が2～3%程度であることが背景にあります。今後もワクチン接種の進展や政府の新型コロナウイルスへの対応策の動向などを背景とした小売り不動産への影響を注視する必要があるとみています。産業用施設は、電子商取引（eコマース）の台頭などを背景とした物流の需要拡大の恩恵を受けており、今後も底堅いとみております。また倉庫などについては、ワクチンの保管やサプライチェーン管理、ビジネスパークについてはハイテク関連からの需

要が拡大しており、小幅ながら賃料の引き上げも達成しています。

◎香港 25.1%

香港市場は、中国不動産大手の債務問題や中国当局による規制強化などの影響があったものの、世界的に新型コロナウイルスのワクチン接種が進展したことや、経済回復が急速に進んだことなどから、リート価格は回復傾向となっております。一方、リート価格はバリュエーションの面で、依然として割安な水準であるとみています。不動産用途別では、小売りは、オンラインショッピングの台頭はあるものの、オンライン消費の比率は依然として一桁台にとどまっており、ショッピングモールなどの商業用施設での消費需要は依然として底堅いとみています。特に、住宅地に近く生活必需品が取扱商品の中心である商業用施設を保有するリートを嗜好しており、今後の更なる事業環境の回復には、中国本土との往来活発が必要とみています。なお、同国のリート市場の時価総額の大半を占める大手小売りリートの2021年11月に発表された業績ガイダンスは市場予想を上回る結果となりました。オフィスは、短期的な需要後退懸念はあるものの、テレワークが構造的に安定して浸透するとはみておらず、今後は中国本土企業からの需要回復なども受けて、オフィス需要は底堅いとみております。



イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
アジア・グロース株式チーム
ポートフォリオ・マネジャー
カテリーナ・イルワン

（注）上記の投資比率はアジア・リート・マスター・ファンド全体における対純資産比率です。

（注）上記は、アジア・リート・マスター・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 金 分 配	騰 落 率 期 中	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
	円	円	%	%	%	%	百万円
9期(2020年1月14日)	9,926	0	△ 0.7	—	—	95.2	140
10期(2020年7月13日)	8,251	0	△16.9	—	—	99.0	114
11期(2021年1月13日)	8,790	0	6.5	—	—	99.0	133
12期(2021年7月13日)	9,700	0	10.4	—	—	96.3	148
13期(2022年1月13日)	9,545	0	△ 1.6	—	—	94.2	122

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
(期 首) 2021年7月13日	円 9,700	% —	% —	% —	% 96.3
7月末	9,655	△0.5	—	—	99.0
8月末	9,568	△1.4	—	—	94.4
9月末	9,339	△3.7	—	—	99.0
10月末	9,770	0.7	—	—	99.0
11月末	9,582	△1.2	—	—	99.0
12月末	9,768	0.7	—	—	99.0
(期 末) 2022年1月13日	9,545	△1.6	—	—	94.2

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第13期：2021年7月14日～2022年1月13日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第13期首	9,700円
第13期末	9,545円
既払分配金	0円
騰落率	-1.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.6%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

シンガポールドルや香港ドルなどの原資産通貨*が円に対して上昇したことが、基準価額のプラスに寄与しました。

*投資を行うリート等の通貨を「原資産通貨」といいます。以下同じ。

下落要因

新型コロナウイルスの新たな変異株の感染拡大に対する懸念や、中国不動産大手の債務問題に対する懸念などが嫌気され、シンガポールのリート価格が下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。

中国当局による規制強化や中国不動産大手の債務問題などが嫌気され、香港のリート価格が下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。

個別銘柄では、アジア・リート市場で時価総額最大級のリート銘柄である「LINK REIT（香港）」の下落や、オフィスや商業用施設を手掛ける「MAPLETREE COMMERCIAL TRU（シンガポール）」の下落などがマイナスに作用しました。

第13期：2021年7月14日～2022年1月13日

投資環境について

▶ アジア・リート市況

アジア・リート市場は、当期間を通しては下落しました。

シンガポール市場は下落しました。期首から2021年8月上旬にかけては、シンガポール政府による新型コロナウイルスの感染防止策の緩和や同国のワクチン接種の進展が他国と比較して堅調であることなどを好感し上昇したものの、10月上旬にかけては、中国不動産大手の債務問題やシンガポール国内の新型コロナウイルスの感染拡大などが嫌気され、下落しました。その後は、11月下旬にかけて、シンガポール政府による入国規制が緩和されたことなどを好感し上昇したものの、11月末に新型コロナウイルスの新たな変異株が発見され、世界各国で感染が確認されたことなどが嫌気され下落しました。結果、期を通してシンガポール市場は下落しました。

香港市場は下落しました。期首から2021年9月下旬にかけては、中国当局による規制強化や中国不動産大手の債務問題などによる投資家心理の悪化などから下落しました。その後は、11月下旬にかけて、中国不動産大手の債務問題への過度な懸念が和らいだことや、下落による値ごろ感が強まったことなどから上昇したものの、11月末に新型コロナウイルスの新た

な変異株が発見され、世界各国で感染が確認されたことなどが嫌気され下落しました。結果、期を通して香港市場は下落しました。

▶ 為替市況

当期間を通してみると、シンガポールドルと香港ドルは上昇し、原資産通貨は対円で上昇しました。

シンガポールドルについては、シンガポール国内の新型コロナウイルスの感染が一時拡大したことや、新型コロナウイルスの新たな変異株の発見などを嫌気する局面があったものの、同国政府の感染防止策の緩和が実施されたことや、同国の新型コロナウイルスのワクチン接種率が世界的にみて高水準であることなどを好感し、期を通して対円で上昇しました。香港ドルについては、ドルペッグ制（ドルとの為替レートを一定に保つ制度）を採用していることから、当期間の堅調な米ドルの動きにつられて、期を通して対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・

翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは－0.021％となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型

期を通じて、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。期末においては、アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）を94.2%、マネー・プール マザーファンドを0.0%組み入れています。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）

主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資しました。国債利回りと比較して、配当利回りに妙味があると判断した銘柄を中心に投資を行いました。

当期間中に、保有銘柄である「MAPLETREE COMMERCIAL TRU（シンガポール）」による「MAPLETREE NORTH ASIA COM（シンガポール）」の買収提案が発表されております。銘柄入替のポイントは以下の通りです。

売買動向

MAPLETREE COMMERCIAL TRU（シンガポール）：コロナ禍の大きな下落から反発したことで、一部売却を行いました。DIGITAL CORE REIT MANAGEMENT（シンガポール）：質の高いデータセンターを保有していることに加え、ファンダメンタルズに対して当銘柄の投資口価格が割安な水準であり投資妙味があると判断し、新規買付を行いました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、分配金額を決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期 2021年7月14日～2022年1月13日	
当期分配金（対基準価額比率）		－（－％）
当期の収益		－
当期の収益以外		－
翌期繰越分配対象額		1,714

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型

引き続き、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）受益証券に投資を行います。また、マネー・プールマザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）

引き続き、主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資を行います。ポートフォリオの構築にあたっては、市場価格が個別銘柄の適正価格を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを重視する方針です。

足下のアジア・リート市場は、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大などの影響があるものの、世界的に新型コロナウイルスワクチンの接種が拡大していることなどを受けて、ワクチン普及による世界経済の正常化期待などを背景に、世界の金融市場は徐々に落ち着きを取り戻す中で投資家心理が改善しつつあります。また長期金利の上昇については、経済活

動の正常化期待などを織り込む結果での上昇であれば、不動産賃料の値上げなどにも繋がり、リートにとってはプラスになるとみています。

シンガポールは、ワクチン接種率が安定して上昇していることや、政府による対応策などが講じられているため、シンガポールのリート市場は相対的に底堅く推移するとみています。また、テクノロジー企業の誘致や新しい拠点のエリアとして期待されており、オフィス市場はこうした恩恵を享受できると期待されます。不動産の用途別では、オフィスを中立にみている一方、小売りについては今後の経済正常化の恩恵を受けるとみています。また、産業用施設は、短期的にはサプライチェーンへの影響などが懸念されるものの、中長期的には電子商取引の台頭などを背景とした物流の需要拡大が期待されます。引き続き、配当利回りの水準が国債利回りや他のグローバル・リート市場との比較で相対的に魅力的な水準にあることなどに注目しています。

香港については、郊外に立地し生活必需品が取扱商品の中心である商業施設を主要投資対象とする銘柄を有望とみています。中国政府による規制強化や同地域の経済成長を巡る不透明感などが、短期的に香港の小売売上高やリートの上値を抑

える要因となる可能性はありますが、ショッピングモールなどの商業用施設での消費需要は底堅く、リート価格は底堅く推移するとみています。最大手リートが保有する小売り物件は地元顧客向けのスーパーマーケット等が中心であるため、外国人観光客の落ち込みを受けた業績への影響等は相対的に限定的とみています。今後も、市場価格が個別銘柄の価値を正しく反映していない結果生じている割当度合いなどを分析し、ポートフォリオを構築する方針です。

▶ マネー・プール マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2021年7月14日～2022年1月13日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	60	0.627	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0.194)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(40)	(0.416)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	1	0.006	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	61	0.633	

期中の平均基準価額は、9,580円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

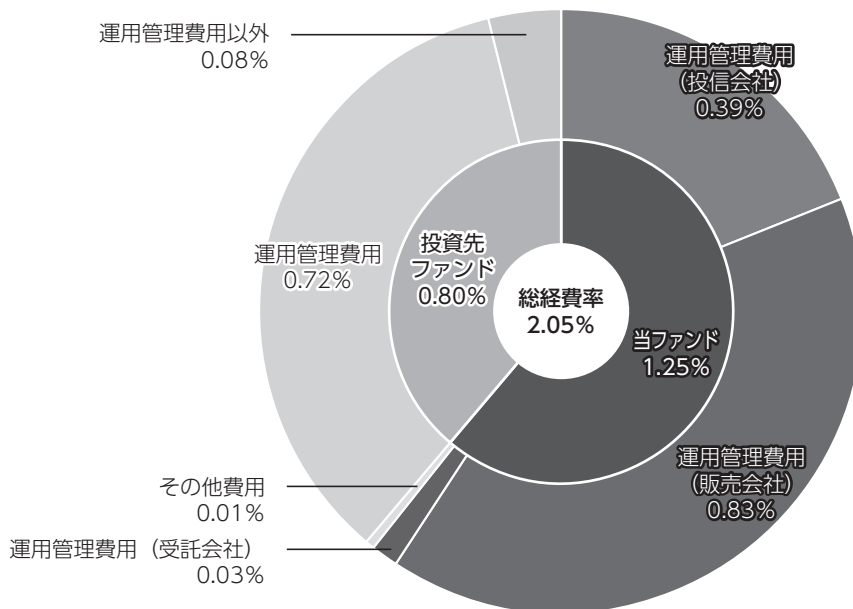
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.05%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.05
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.72
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.08

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月14日～2022年1月13日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アジア・リート・マスター・ファンド (Local Currencyクラス)	千口 7,015	千円 5,884	千口 34,317	千円 28,970

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月14日～2022年1月13日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年1月13日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	アジア・リート・マスター・ファンド (Local Currencyクラス)	166,433	139,130	115,464	94.2
	合 計	166,433	139,130	115,464	94.2

(注) 比率はアジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・プール マザーファンド	9	9	9

○投資信託財産の構成

（2022年1月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 115,464	% 93.6
マネー・プール マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	7,898	6.4
投資信託財産総額	123,371	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年1月13日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	123,371,787
コール・ローン等	7,897,188
投資信託受益証券(評価額)	115,464,608
マネー・プール マザーファンド(評価額)	9,991
(B) 負債	831,255
未払金	10,000
未払信託報酬	814,108
未払利息	2
その他未払費用	7,145
(C) 純資産総額(A－B)	122,540,532
元本	128,382,889
次期繰越損益金	△ 5,842,357
(D) 受益権総口数	128,382,889口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,545円

<注記事項>

- ①期首元本額 153,299,398円
 期中追加設定元本額 2,983,108円
 期中一部解約元本額 27,899,617円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9545円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,842,357円です。

③分配金の計算過程

項 目	2021年7月14日～ 2022年1月13日
費用控除後の配当等収益額	2,353,840円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	6,870,713円
分配準備積立金額	12,788,461円
当ファンドの分配対象収益額	22,013,014円
1万口当たり収益分配対象額	1,714円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2021年7月14日～2022年1月13日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,175,397
受取配当金	3,175,597
受取利息	7
支払利息	△ 207
(B) 有価証券売買損益	△ 4,290,370
売買益	3,158,263
売買損	△ 7,448,633
(C) 信託報酬等	△ 821,253
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 1,936,226
(E) 前期繰越損益金	724,769
(F) 追加信託差損益金	△ 4,630,900
(配当等相当額)	(6,870,713)
(売買損益相当額)	(△11,501,613)
(G) 計(D＋E＋F)	△ 5,842,357
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△ 5,842,357
追加信託差損益金	△ 4,630,900
(配当等相当額)	(6,870,713)
(売買損益相当額)	(△11,501,613)
分配準備積立金	15,142,301
繰越損益金	△16,353,758

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）
運用方針及び投資制限	1. 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資を行います。 ・不動産投資信託（リート）等の組入比率は原則として高位を保ちます。 2. シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行います（以下、投資先ファンドが投資を行う不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」ということがあります。）。アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）における為替取引は、原則として原資産通貨について為替取引は行いません。 3. 投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）の発生を含む市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。 4. 1発行体等あたりの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。
投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド (Eastspring Investments (Singapore) Limited)
信託期限	無期限
設定日	2013年9月20日
会計年度末	毎年8月末
収益分配	原則として、毎月分配を行います。

「イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド」について
イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドは、1994年10月にシンガポールにおいて設立された運用会社です。グローバルに金融サービスを展開する英国ブルーデンシャル社のアジアにおける資産運用事業部門であるイーストスプリング・インベストメンツ・グループに所属しており、グループ内のアジア各国・地域の運用会社と連携して運用を行っています。

アジア・リート・マスター・ファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2020年8月31日に終了する期間)

(米ドルで表示)

投資収益

受取配当金（源泉徴収税控除後）	\$	42,126,374
受取利息		8,400
その他収入		27,230
投資収益合計		42,162,004

費用

運用受託報酬		5,640,406
会計処理および管理手数料		830,775
通貨管理代行手数料		692,681
保管費用		625,944
名義書換事務代行手数料		119,700
専門家報酬		41,564
登録料		14,343
受託者報酬		14,025
費用合計		7,979,438

投資純利益 34,182,566

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券	15,786,161
外国通貨取引および為替予約取引	(5,252,752)
実現純損益	10,533,409

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券	(172,003,171)
外国通貨取引および為替予約取引	(180,506)
未実現評価損益の純変動	(172,183,677)

実現および未実現損益（純額） (161,650,268)

運用による純資産の増減（純額） \$ (127,467,702)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2020年8月31日に終了する期間)

(米ドルで表示)

運用による純資産の増減額:

投資純損益	\$	34,182,566
実現純損益		10,533,409
未実現評価損益の純変動		(172,183,677)
運用による純資産の増減額		(127,467,702)

分配額	(98,883,381)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額	(436,523,348)
純資産の増減額	(662,874,431)

純資産

期首	1,344,545,508
期末	\$ 681,671,077

	IDRクラス	INRクラス	JPYクラス
ファンドユニット取引			
ユニット数			
発行	283,860,265	2,740,197,877	180,211,274
買戻し	507,772,271	15,404,802,395	216,441,093
償還	(1,987,320,008)	(78,811,103,577)	(2,388,654,462)
ユニット増減数	(1,195,687,472)	(60,666,103,305)	(1,992,002,095)
金額			
発行	\$ 1,785,200	\$ 14,479,491	\$ 1,073,662
買戻し	3,077,724	87,086,827	1,455,354
償還	(12,359,137)	(449,685,070)	(16,218,864)
ファンドユニット取引による増減額	\$ (7,496,213)	\$ (348,118,752)	\$ (13,689,848)

Local Currency クラス

ファンドユニット取引

ユニット数	
発行	636,687,036
買戻し	942,236,011
償還	(10,252,261,307)
ユニット増減数	(8,673,338,260)

金額	
発行	\$ 4,650,206
買戻し	7,263,476
償還	(79,132,217)
ファンドユニット取引による増減額	\$ (67,218,535)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2020年8月31日現在)

(米ドルで表示)

投資口数	銘柄名	純資産比率	公正価値
	COMMON STOCKS (97.1%)		
	HONG KONG (26.2%)		
	REITS* (26.2%)		
20,885,000	Champion	\$	11,048,625
15,135,000	China Merchants Commercial		4,999,335
27,282,000	Fortune		23,585,273
16,015,685	Link		127,503,050
36,444,000	Prosperity		11,144,595
			<u>178,280,878</u>
	TOTAL HONG KONG (Cost \$238,276,426)		<u>178,280,878</u>
	SINGAPORE (70.9%)		
	REITS* (70.9%)		
29,280,016	ARA LOGOS Logistics Trust		13,782,885
32,304,227	Ascendas		78,883,520
9,920,300	Ascendas India Trust		9,777,289
39,832,846	CapitaLand Commercial Trust		49,219,757
13,048,200	CapitaMall Trust		18,810,291
16,196,774	CapitaRetail China Trust		13,699,831
18,912,000	Crom well European		10,064,924
22,927,800	Eagle Hospitality Trust		3,141,108
66,054,572	ESR		19,676,450
4,097,884	Fraser's Centrepoint Trust		7,595,372
37,454,160	Fraser's Logistics & Commercial Trust		36,914,220
8,859,231	Keppel		6,841,860
30,051,417	Manulife US		22,388,306
21,328,345	Mapletree Commercial Trust		30,119,463
13,115,588	Mapletree Industrial Trust		29,422,288
28,525,137	Mapletree Logistics Trust		43,429,710
57,987,861	Mapletree North Asia Commercial Trust		40,091,637
72,639,594	OUE Commercial		20,035,192
4,593,700	Parkway Life		12,703,966
16,474,600	Starhill Global		5,392,172
11,609,900	Suntec		11,954,884
			<u>483,945,125</u>
	TOTAL SINGAPORE (Cost \$501,409,260)		<u>483,945,125</u>
	TOTAL COMMON STOCKS (Cost \$739,685,686)		<u>\$ 662,226,003</u>
	TOTAL INVESTMENTS (Cost \$739,685,686)	97.1%	<u>\$ 662,226,003</u>
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	2.9	<u>19,445,074</u>
	NET ASSETS	<u>100.0%</u>	<u>\$ 681,671,077</u>

* REITS — Real Estate Investment Trust

(2020年8月31日現在)

I D Rクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
EUR	Credit Suisse AG	163	09/30/2020	USD	196	\$ -	\$ -	-*
EUR	Credit Suisse AG	176	09/30/2020	USD	208	3	-	3
EUR	Credit Suisse AG	185	09/30/2020	USD	219	3	-	3
EUR	Credit Suisse AG	2,075	09/30/2020	USD	2,456	27	-	27
EUR	Credit Suisse AG	18	09/30/2020	USD	21	-	-	-*
HKD	Credit Suisse AG	29,952	09/30/2020	USD	3,867	-	(3)	(3)
HKD	Credit Suisse AG	28,478	09/30/2020	USD	3,676	-	(2)	(2)
HKD	Credit Suisse AG	2,929	09/30/2020	USD	378	-	-	-*
HKD	Credit Suisse AG	336,274	09/30/2020	USD	43,411	-	(31)	(31)
HKD	Credit Suisse AG	26,772	09/30/2020	USD	3,456	-	(2)	(2)
IDR	Credit Suisse AG	5,504,464	09/30/2020	USD	377	-	-	-*
IDR	Credit Suisse AG	234,411,770,572	09/30/2020	USD	15,826,263	228,004	-	228,004
SGD	Credit Suisse AG	1,305	09/30/2020	USD	954	6	-	6
SGD	Credit Suisse AG	11,837	09/30/2020	USD	8,714	-	(8)	(8)
SGD	Credit Suisse AG	12,660	09/30/2020	USD	9,270	42	-	42
SGD	Credit Suisse AG	13,311	09/30/2020	USD	9,750	41	-	41
SGD	Credit Suisse AG	149,747	09/30/2020	USD	109,462	680	-	680
USD	Credit Suisse AG	254	09/30/2020	SGD	345	-	-	-*
USD	Credit Suisse AG	10,651,075	09/30/2020	SGD	14,620,471	-	(102,577)	(102,577)
USD	Credit Suisse AG	238,977	09/30/2020	EUR	202,773	-	(3,681)	(3,681)
USD	Credit Suisse AG	6	09/30/2020	EUR	5	-	-	-*
USD	Credit Suisse AG	1,417	09/30/2020	IDR	20,860,846	-	(12)	(12)
USD	Credit Suisse AG	162,648	09/30/2020	IDR	2,392,897,683	-	(1,235)	(1,235)
USD	Credit Suisse AG	14,487	09/30/2020	IDR	213,756,381	-	(152)	(152)
USD	Credit Suisse AG	13,774	09/30/2020	IDR	203,117,400	-	(138)	(138)
USD	Credit Suisse AG	12,948	09/30/2020	IDR	189,056,070	-	-	-*
USD	Credit Suisse AG	4,224,029	09/30/2020	HKD	32,748,527	-	(569)	(569)
USD	Credit Suisse AG	101	09/30/2020	HKD	781	-	-	-*
						\$ 228,806	\$ (108,410)	\$ 120,396

I N Rクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
EUR	Credit Suisse AG	16,895	09/30/2020	USD	19,999	\$ 219	\$ -	219
EUR	Credit Suisse AG	26,644	09/30/2020	USD	31,515	370	-	370
EUR	Credit Suisse AG	3,498	09/30/2020	USD	4,168	18	-	18
EUR	Credit Suisse AG	13,790	09/30/2020	USD	16,277	226	-	226
EUR	Credit Suisse AG	18,952	09/30/2020	USD	22,423	257	-	257
EUR	Credit Suisse AG	4,592	09/30/2020	USD	5,499	-	(3)	(3)
HKD	Credit Suisse AG	4,314,941	09/30/2020	USD	557,044	-	(411)	(411)
HKD	Credit Suisse AG	2,738,289	09/30/2020	USD	353,495	-	(253)	(253)
HKD	Credit Suisse AG	3,070,071	09/30/2020	USD	396,333	-	(290)	(290)
HKD	Credit Suisse AG	2,228,720	09/30/2020	USD	287,698	-	(191)	(191)
HKD	Credit Suisse AG	570,772	09/30/2020	USD	73,676	-	(46)	(46)
HKD	Credit Suisse AG	752,940	09/30/2020	USD	97,190	-	(60)	(60)
INR	Credit Suisse AG	40,972,311,068	09/30/2020	USD	544,772,521	10,161,013	-	10,161,013
SGD	Credit Suisse AG	1,921,990	09/30/2020	USD	1,404,610	9,052	-	9,052
SGD	Credit Suisse AG	332,896	09/30/2020	USD	245,068	-	(217)	(217)
SGD	Credit Suisse AG	252,206	09/30/2020	USD	185,778	-	(275)	(275)
SGD	Credit Suisse AG	990,785	09/30/2020	USD	725,443	3,299	-	3,299
SGD	Credit Suisse AG	1,364,399	09/30/2020	USD	999,370	4,173	-	4,173
SGD	Credit Suisse AG	1,219,396	09/30/2020	USD	891,354	5,536	-	5,536
USD	Credit Suisse AG	366,631,907	09/30/2020	SGD	503,266,706	-	(3,530,912)	(3,530,912)
USD	Credit Suisse AG	8,226,065	09/30/2020	EUR	6,979,856	-	(126,691)	(126,691)
USD	Credit Suisse AG	2,087,088	09/30/2020	INR	155,745,447	-	(22,346)	(22,346)
USD	Credit Suisse AG	1,324,449	09/30/2020	INR	98,725,974	-	(12,706)	(12,706)
USD	Credit Suisse AG	1,484,948	09/30/2020	INR	110,648,178	-	(13,683)	(13,683)
USD	Credit Suisse AG	1,077,925	09/30/2020	INR	79,962,553	-	(5,097)	(5,097)
USD	Credit Suisse AG	276,044	09/30/2020	INR	20,343,735	506	-	506
USD	Credit Suisse AG	364,143	09/30/2020	INR	26,918,287	-	(441)	(441)
USD	Credit Suisse AG	145,399,786	09/30/2020	HKD	1,127,271,677	-	(19,573)	(19,573)
						\$ 10,184,669	\$ (3,733,195)	\$ 6,451,474

(2020年8月31日現在)

JPYクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
EUR	Credit Suisse AG	6	09/30/2020	USD	7 \$	– \$	– \$	–*
EUR	Credit Suisse AG	951	09/30/2020	USD	1,123	16	–	16
EUR	Credit Suisse AG	19	09/30/2020	USD	23	–	–	–*
EUR	Credit Suisse AG	12	09/30/2020	USD	14	–	–	–*
HKD	Credit Suisse AG	153,705	09/30/2020	USD	19,841	–	(13)	(13)
HKD	Credit Suisse AG	977	09/30/2020	USD	126	–	–	–*
HKD	Credit Suisse AG	3,115	09/30/2020	USD	402	–	–	–*
HKD	Credit Suisse AG	1,953	09/30/2020	USD	252	–	–	–*
JPY	Credit Suisse AG	2,385,171,940	09/30/2020	USD	22,518,510	–	(17,818)	(17,818)
JPY	Credit Suisse AG	11,662,932	09/30/2020	USD	109,972	51	–	51
JPY	Credit Suisse AG	7,238,667	09/30/2020	USD	68,822	–	(536)	(536)
SGD	Credit Suisse AG	68,330	09/30/2020	USD	50,031	228	–	228
SGD	Credit Suisse AG	870	09/30/2020	USD	636	4	–	4
SGD	Credit Suisse AG	1,387	09/30/2020	USD	1,014	6	–	6
SGD	Credit Suisse AG	432	09/30/2020	USD	318	–	–	–*
USD	Credit Suisse AG	945	09/30/2020	JPY	100,016	1	–	1
USD	Credit Suisse AG	340,030	09/30/2020	EUR	288,517	–	(5,237)	(5,237)
USD	Credit Suisse AG	18,369	09/30/2020	HKD	142,480	–	(11)	(11)
USD	Credit Suisse AG	29,351	09/30/2020	HKD	227,638	–	(14)	(14)
USD	Credit Suisse AG	46,318	09/30/2020	SGD	63,009	–	(27)	(27)
USD	Credit Suisse AG	1,661	09/30/2020	EUR	1,405	–	(21)	(21)
USD	Credit Suisse AG	74,011	09/30/2020	SGD	101,243	–	(456)	(456)
USD	Credit Suisse AG	15,154,957	09/30/2020	SGD	20,802,842	–	(145,953)	(145,953)
USD	Credit Suisse AG	74,340	09/30/2020	JPY	7,915,091	–	(328)	(328)
USD	Credit Suisse AG	473	09/30/2020	JPY	50,123	–	–	–*
USD	Credit Suisse AG	1,507	09/30/2020	JPY	160,601	–	(8)	(8)
USD	Credit Suisse AG	6,010,190	09/30/2020	HKD	46,598,879	–	(1,119)	(1,119)
USD	Credit Suisse AG	1,039	09/30/2020	EUR	874	–	(6)	(6)
						\$ 306	\$ (171,547)	\$ (171,241)

*Net Unrealized Gain/(Loss) is less than \$1.

デリバティブ商品の額

	取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額	受取担保金*	差入担保金*	純額**
店頭デリバティブ 為替予約						
	Credit Suisse AG	\$ 10,413,781	\$ (4,013,152)	\$ (1,744,396)	\$ –	\$ 4,656,233
マスターネットिंग契約の 対象となるデリバティブ合計		\$ 10,413,781	\$ (4,013,152)	\$ (1,744,396)	\$ –	\$ 4,656,233

資産および負債における
店頭デリバティブ合計

\$ 10,413,781 \$ (4,013,152)

* Actual collateral received or pledged, if any, may be more than disclosed in the table above.

** Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

EUR	-	Euro
HKD	-	Hong Kong Dollar
IDR	-	Indonesian Rupiah
INR	-	Indian Rupee
JPY	-	Japanese Yen
SGD	-	Singapore Dollar
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第24期》決算日2021年7月14日

[計算期間：2021年1月15日～2021年7月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第24期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第24期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率					
	円	%		%		%	百万円
20期(2019年7月16日)	10,042	△0.0		—		—	147
21期(2020年1月14日)	10,041	△0.0		—		—	130
22期(2020年7月14日)	10,041	0.0		—		—	117
23期(2021年1月14日)	10,041	0.0		—		—	230
24期(2021年7月14日)	10,040	△0.0		—		—	141

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落 率				
(期 首)	円	%		%		%
2021年1月14日	10,041	—		—		—
1月末	10,041	0.0		—		—
2月末	10,041	0.0		—		—
3月末	10,041	0.0		—		—
4月末	10,041	0.0		—		—
5月末	10,041	0.0		—		—
6月末	10,040	△0.0		—		—
(期 末)						
2021年7月14日	10,040	△0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

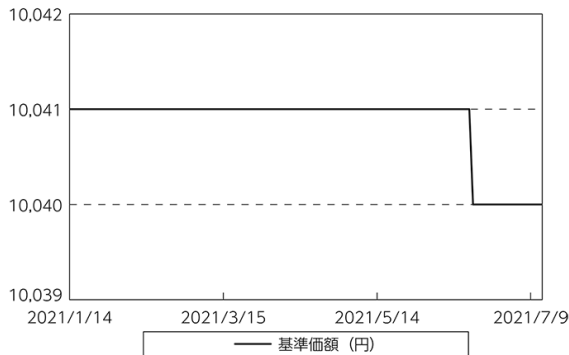
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.043%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年1月15日～2021年7月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年1月15日～2021年7月14日)

---	---

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 13,199,992	千円 13,299,993

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年1月15日～2021年7月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年7月14日現在)

---	---

区分	当期末	
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 99,999	% 70.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2021年7月14日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
その他有価証券	千円 99,999	% 70.7
コール・ローン等、その他	41,398	29.3
投資信託財産総額	141,397	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年7月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	141,397,328
コール・ローン等	41,397,386
その他有価証券(評価額)	99,999,942
(B) 負債	55
未払利息	55
(C) 純資産総額(A－B)	141,397,273
元本	140,827,312
次期繰越損益金	569,961
(D) 受益権総口数	140,827,312口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,040円

<注記事項>

- ①期首元本額 229,994,634円
 期中追加設定元本額 8,306,793円
 期中一部解約元本額 97,474,115円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0040円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	101,842,839円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドX(年2回決算型)	26,236,133円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	5,154,901円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX(1年決算型)	1,298,028円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(1年決算型)	99,592円
国際オルタナティブ戦略 QTX－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 分配型	99,561円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961円

○損益の状況 (2021年1月15日～2021年7月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,098
受取利息	395
支払利息	△ 3,493
(B) 当期損益金(A)	△ 3,098
(C) 前期繰越損益金	937,452
(D) 追加信託差損益金	34,020
(E) 解約差損益金	△398,413
(F) 計(B＋C＋D＋E)	569,961
次期繰越損益金(F)	569,961

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	9,959円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	9,959円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
合計	140,827,312円